がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	JBR10変法
診療科名	腫瘍内科
診療科責任者名	大山 優
適応がん種	NSCLC
保険適応外の使用	□有 ■無

がん治療ワーキンググループ使用欄			
登録番号	NSCLC-23		
登録日•更新日	2008年10月22日		
削除日			
出典	協和発酵キリン資料 NVB0008HJB06L		
入力者	安室 修		

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名	規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
No.1	ナベルビン	25mg	25mg/m^2	□IV ■DIV □IVHポート □側管 □その他()	10分以内	Day1,8
	生理食塩液	50mL				
No.2	シスプラチン	10mg, 50mg	40mg/m ²	□IV ■DIV □IVHポート □側管 □その他()	1.5時間	Day1,8
110.2	生理食塩液	500mL				

1コースの期間	21日	
投与間隔の短縮規定	□短縮可能(日) · ■短縮不可能	
計算後の投与量上限値	110%	
計算後の投与量下限値	50%	
減量·中止基準	【開始基準】 WBC≥3000/μL, ANC≥1500/μL, PIt≥10万/μL, transaminase<100IU/L, SCr<1.5mg/dL 【コース継続基準】 WBC≥2500/μL, ANC≥1000/μL, PIt≥7万/μL, transaminase<100IU/L, SCr<1.5mg/dL 【減量基準】 Grade4の骨髄抑制 Grade3(悪心嘔吐除く)の非血液毒性 が見られたとき減量する第一段階:CDDP40mg/m²2 VNR25mg/m²2 隔週投与第二段階:CDDP40mg/m²2 VNR20mg/m²2 隔週投与【中止基準】 SCr>1.5mg/dLのときCDDPの投与中止	
前投薬	デキサメタゾンNa8mg グラニセトロン3mg	
その他の注意事項	術後補助化学療法:術後4週で治療開始 CDDP終了後にフロセミド10mg/生理食塩液500mL 1.5時間で利尿を図る	

記入者	松田 正典
確認者	安室 修